総合型選抜入学試験［専願体験型］

東北芸術工科大学の総合型選抜入学試験［専願体験型］は、一般的な大学入試のように機械的に点数の低い受験者を落とすだけの選抜型とは全く異なり、大学と受験生の相互理解を深め、通常の入試では評価されにくい受験生自身の魅力を評価するものです。選考の際は、「アドミッション・ポリシー」（大学側の求める学生像や受験生の受け入れ方針）やカリキュラムなどを踏まえた上で、ワークショップや体験授業に参加いただきます。

本試験では学ぼうとする意欲や取り組む姿勢、大学教育を受けるために必要な基礎的学力、思考力、判断力、表現力や協調性など、個々の幅広い魅力と能力を見い出します。加えて、面接を通してあなたが持つたくさんの可能性も評価します。これらを通して、受験時点での実力だけでなく、多角的な視点で受験生一人ひとりと向き合い、選考する点が大きな特徴です。志望する専門分野に触れたことがなくても構いません。ぜひ積極的なチャレンジをお待ちしています。

本学専願者のみ出願できます。
2学科まで併願できます。（検定料は変わりません）
合格した場合は第二志望以降の学科・コースであっても本学への入学を辞退できません。

総合型選抜入学試験［専願体験型］

日程

出願登録期間	検定料支払期限	出願書類郵送締切日（消印有効）	試験日（※）
2025年 9月1日（月）9:00－9月9日（火）16:00	出願登録した翌日の23:59まで （ただし、出願登録期間最終日は16:00まで）	9月9日（火）	10月11日（土） 10月12日（日） 10月13日（祝・月）

合格発表	第一次入学手続締切日	第二次入学手続締切日
11月4日（火）10:00～ ※11/18（火）17時まで発表	11月18日（火）	12月12日（金）

※学科・コースによって選考日程が異なりますので、次ページ以降を参照してください。

募集人数

学部	学科	募集人員
芸術学部	歴史遺産学科（文化財保存修復／歴史遺産）	全体の50%程度
	美術科（日本画／洋画／グラフィックアーツ／彫刻・キャラクター造形／総合美術）	
	工芸デザイン学科	
	文芸学科	
デザイン工学部	プロダクトデザイン学科	
	建築・環境デザイン学科	
	グラフィックデザイン学科（グラフィックデザイン／イラストレーション）	
	映像学科（キャラクター・ゲーム／CG・アニメーション／映像クリエイション）	
	企画構想学科（企画構想／地域デザイン／食文化デザイン）	

※複数の学科において、入学定員増加の認可申請中のため、学科・コース名称及び募集人員は変更となる場合があります。正式に決まり次第（7月中旬頃）大学HPにて掲載しますので、必ず確認してください。

出願資格

●本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を辞退しない者（第二志望以降の学科・コースに合格した場合も含む）（本学専願者）
●以下の項目のうち、いずれかを満たす者
①高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
③学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。なお、個別の出願資格審査を受けて出願しようとする者は7月25日までに本学入試課までお問い合わせください。
④外国人留学生の方は「外国人留学生特別選抜試験」の出願資格に準じます。
⑤日本の国籍を有し、事情により外国における正規の学校教育を受けた方は「帰国生特別選抜試験」の出願資格に準じます。

出願方法

インターネットで出願してください。なお、出願手続は出願登録と検定料の支払と出願書類の郵送を期間内に行うことによって完了します。
詳しくはP.12～23 Web出願ガイドをご参照ください。

検定料

33,000円
クレジットカード、コンビニ、ペイジーのいずれかの方法で納入してください。また、2025年5月と7月のオープンキャンパスに参加した方には「オープンキャンパス割」があります。詳しくはP.12～23 Web出願ガイドをご参照ください。

出願書類

① Web 志願票　詳しくは P.12 ～ 23 Web 出願ガイドをご参照ください。

②調査書等　いずれか該当するものを提出し、発行者において厳封したもの（開封したものは無効）を提出してください。なお、いずれの証明書も出願時より3ヶ月以内に発行したものを提出してください。なお、併願する場合でも、一通で構いません。

(1) 高等学校、中等教育学校を卒業見込みの者、または卒業した者
→調査書（出身学校長が作成）
(2) 高等専門学校第3学年修了見込みの者、または修了した者
→文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの（出身学校長が作成）。
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者、または修了した者
→文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの（出身学校長が作成）。
(4) 大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験に合格した者
→合格成績証明書
(5) 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者
→合格見込み証明書（成績が記載されたもの）
(6) 外国において学校教育における12年の課程の修了（見込み）者又は、これに準じる者で文部科学大臣が指定したもの
→卒業（見込み）証明書、成績証明書
(7) 文部科学大臣の指定した専修学校の高等課程を修了見込みの者、または修了した者
→卒業（見込み）証明書、成績証明書

※高等学校等卒業後、一定期間が経過し、調査書の発行ができない場合は卒業証明書及び成績証明書を提出してください。
※(4)・(5) については、免除科目がある場合は、免除を証明する書類（当該出身高等学校等の成績証明書や技能審査の場合は実施団体の発行する合格証明書）を提出してください。
※上記証明書のうち、発行側の都合により、出願時に提出できない場合は、あらかじめ入試課までご相談ください。
※高等学校、中等教育学校及び高等専門学校、専門学校の卒業（修了）見込み者については、後日、卒業（修了）見込み証明書の提出を求める場合があります。
※出願後、各学科・コースの判断により、別途上記証明書以外の証明等の提出を求める場合があります。

③エントリーシート　次のサイト（URL:https://www.tuad.ac.jp/adm/information/dept/）にあるエントリーシートをダウンロードし、A4サイズで印刷してください。エントリーシートは各項目毎にその様式におさまる字数でボールペンの手書き（消せるボールペンは不可）で記入してください。なお、2日間の受験が必要な場合は、2枚必要です。詳細は P.30「併願時のエントリーシートについて」をご参照ください。

※必ず P.12 ～ 23 Web 出願ガイドをご参照ください。
※外国人留学生の方は、出願資格・出願書類で別途必要になるものがあります。詳細は P.69 にある「外国人留学生特別選抜試験」の記載事項に準じます。
※日本の国籍を有し、事情により外国における正規の学校教育を受けた方は、出願資格・出願書類で別途必要になるものがあります。詳細は P.67「帰国生特別選抜試験」の記載事項に準じます。
※エントリーシートについて手書きでの記入が難しい場合は、出願登録期間開始日の一か月前までにメールにて入試課までご連絡ください。

※これら全ての出願書類が出願時に揃っていない場合、あるいは出願書類が揃っていても不備があった場合は、いかなる理由があっても出願を認めません。あらかじめ時間に余裕を持って準備し、募集要項をよく読み、書類不足や不備のないようにしてください。

試験会場

山形会場　会場の所在地及び交通手段は P.78 を参照してください。
試験当日は山形駅から臨時バスを運行します（無料）。発車時刻等については、別途お知らせします。
なお、山形駅と大学間以外でのバス運行はありません。

受験上の注意

試験当日の試験終了時刻は、学科・コース別に定めているため、試験時間割が各々異なりますが、全学科・コース18時までには終了予定です。状況によって同時刻まで試験が行われることを踏まえて、ご準備をお願いします。なお、面接試験が終了した受験生より順次帰宅となる学科・コースもあり、終了時刻は受験生により異なりますのでご了承ください（P.39 参照）。その他注意事項については、P.79 ～ 80 および P.83 をご参照ください。

集合時刻

集合時刻等は全学科・コースとも9時です。

第一志望のみ出願可能な学科・コース

- 美術科洋画コース
- グラフィックデザイン学科（2コース）
- 映像学科（3コース）

※ただしグラフィックデザイン学科、映像学科のいずれかのコースを第一志望とした場合、同じ学科内のコースを第二志望以降とすることは可能。

学内併願

- 学科は最大2学科まで、同一学科内では最大3コースまで併願可能です（最大2学科、6コースまで併願可能）。併願の場合でも検定料は変わりません。

**学科内での
コース併願**

学科	コース	併願ルール
歴史遺産学科	文化財保存修復コース	1回の試験で学科内の2コース併願可能
	歴史遺産コース	
美術科	日本画コース	1回の試験で学科内の最大3コース併願可能
	洋画コース	
	グラフィックアーツコース	
	彫刻・キャラクター造形コース	
	総合美術コース	
グラフィックデザイン学科	グラフィックデザインコース	1回の試験で学科内の2コース併願可能
	イラストレーションコース	
映像学科	キャラクター・ゲームコース	1回の試験で学科内の最大3コース併願可能
	CG・アニメーションコース	
	映像クリエイションコース	
企画構想学科	企画構想	1回の試験で学科内の最大3コース併願可能
	地域デザイン	
	食文化デザイン	

※試験は最大 2 学科・6 コースまで受験可能

併願可否パターンと試験日

			第二志望以降																		
			文財	歴産	日画	洋画	アーツ	彫刻	総美	工芸	文芸	プロ	建環	グラデ	イラ	キャラ	CG	映像ク	企画	地域	食文
第一志望	歴史遺産学科	文化財保存修復コース	■	◆	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
		歴史遺産コース	◆	■	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
	美術科	日本画コース	◇	◇	■	×	▲	▲	▲	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
		洋画コース	◇	◇	▲	■	▲	▲	▲	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
		グラフィックアーツコース	◇	◇	▲	×	■	▲	▲	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
		彫刻・キャラクター造形コース	◇	◇	▲	×	▲	■	▲	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
		総合美術コース	◇	◇	▲	×	▲	▲	■	○	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
	工芸デザイン学科		◇	◇	△	×	△	△	△	■	○	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
	文芸学科		◇	◇	△	×	△	△	△	○	■	○	○	×	×	×	×	×	□	□	□
	プロダクトデザイン学科		◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	■	○	×	×	×	×	×	□	□	□
	建築・環境デザイン学科		◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	■	×	×	×	×	×	□	□	□
	グラフィックデザイン学科	グラフィックデザインコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	■	★	×	×	×	□	□	□
		イラストレーションコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	★	■	×	×	×	□	□	□
	映像学科	キャラクター・ゲームコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	■	●	●	□	□	□
		CG・アニメーションコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	●	■	●	□	□	□
		映像クリエイションコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	●	●	■	□	□	□
	企画構想学科	企画構想コース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	■	■	■
		地域デザインコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	■	■	■
		食文化デザインコース	◇	◇	△	×	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	■	■	■

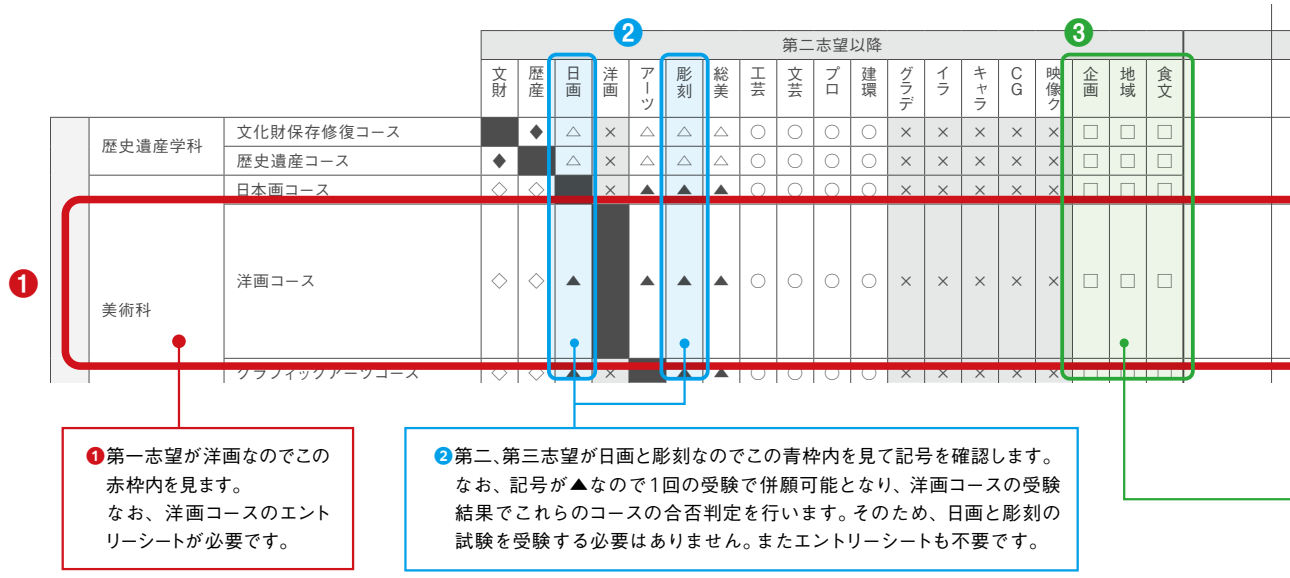
○ 第一志望と第二志望以降の試験日は別日となり、合計２日間の受験が必要。エントリーシートは第一志望の学科・コースと（○）の志望学科で必要。

◆■▲★● １回の受験で併願可能。エントリーシートは第一志望の学科・コースでのみ必要となり、(◆)(■)(▲)(★)(●) の志望コースでは不要。

◇ 第二志望以降で、歴史遺産学科のいずれかのコースを志望した場合、歴史遺産学科のもう一つのコースも１回の受験で併願可能。第一志望と第二志望以降（◇）の試験日は別日となり、合計２日間の受験が必要。エントリーシートは第一志望の学科・コースと（◇）のうち志望の高いコースで必要。

表の見方

例）第一志望：洋画コース、第二志望：日本画コース、第三志望：彫刻・キャラクター造形コース、第四志望：地域デザインコース、第五志望：企画構想コース、第六志望：食文化デザインコースで受験生の生まれ月が「11月」の場合



❶第一志望が洋画なのでこの赤枠内を見ます。
なお、洋画コースのエントリーシートが必要です。

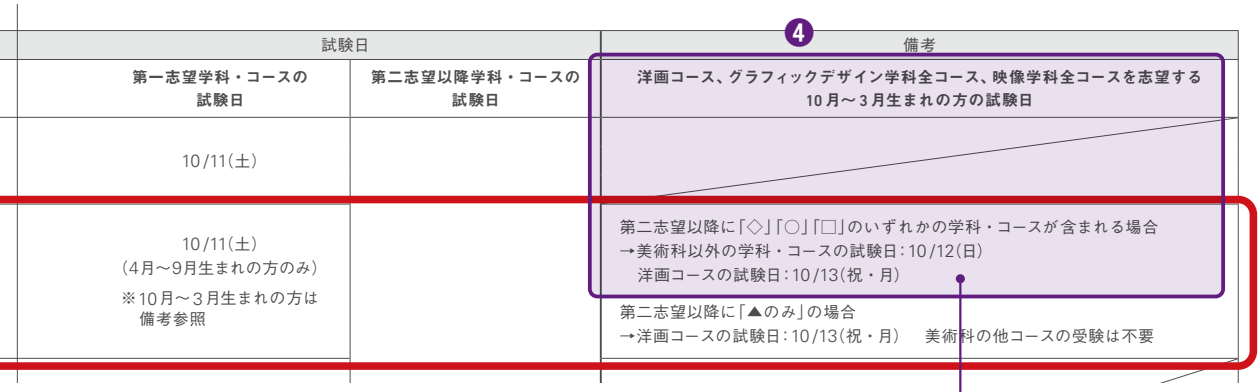
❷第二、第三志望が日画と彫刻なのでこの青枠内を見て記号を確認します。
なお、記号が▲なので１回の受験で併願可能となり、洋画コースの受験結果でこれらのコースの合否判定を行います。そのため、日画と彫刻の試験を受験する必要はありません。またエントリーシートも不要です。

試験日		備考
第一志望学科・コースの試験日	**第二志望以降学科・コースの試験日**	**洋画コース、グラフィックデザイン学科全コース、映像学科全コースを志望する10月～3月生まれの方の試験日**
10/11(土)	第二志望以降に「◇」「△」「○」「□」のいずれかの学科・コースが含まれる場合 →10/12(日)	
10/11(土) (4月～9月生まれの方のみ) ※10月～3月生まれの方は備考参照		第二志望以降に「◇」「○」「□」のいずれかの学科・コースが含まれる場合 →美術科以外の学科・コースの試験日:10/12(日) 洋画コースの試験日:10/13(祝・月) 第二志望以降に「▲のみ」の場合 →洋画コースの試験日:10/13(祝・月)　美術科の他コースの受験は不要
10/11(土)		
10/11(土) (4月～9月生まれの方のみ) ※10月～3月生まれの方は備考参照	第二志望以降に「◆のみ」「▲のみ」「★のみ」「●のみ」「■のみ」の場合 →第二志望以降は受験不要	第二志望以降に「◇」「△」「○」「□」のいずれかの学科・コースが含まれる場合 →グラフィックデザイン学科以外の学科・コースの試験日:10/12(日) 第一志望コースの試験日:10/13(祝・月) 第二志望以降に「★のみ」の場合 →第一志望コースの試験日:10/13(祝・月)　第二志望コースの受験は不要
		第二志望以降に「◇」「△」「○」「□」のいずれかの学科・コースが含まれる場合 →映像学科以外の学科・コースの試験日:10/12(日) 第一志望コースの試験日:10/13(祝・月) 第二志望以降に「●のみ」の場合 →第一志望コースの試験日:10/13(祝・月)　第二志望以降のコースの受験は不要
10/11(土)		

△　第二志望以降で、美術科のいずれかのコースを志望した場合、美術科の別の3コースの中から2コース（洋画コースを除く）も1回の受験で併願可能。
第一志望と第二志望以降（△）の試験日は別日となり、合計2日間の受験が必要。
エントリーシートは第一志望の学科・コースと（△）のうち志望の高いコースで必要。

□　第二志望以降で、企画構想学科のいずれかのコースを志望した場合、企画構想学科の別の2コースも1回の受験で併願可能。
第一志望と第二志望以降（□）の試験日は別日となり、合計2日間の受験が必要。
エントリーシートは第一志望の学科・コースと（□）のうち志望の高いコースで必要。

×　併願不可



❸第四、第五、第六志望が地域、企画、食文なのでこの緑枠内を見て記号を確認します。
なお、記号が□なので洋画とは別の日に地域デザインコースの受験が必要です。また地域デザインコースのエントリーシートも必要です。

❹生まれ月が「11月」のため、試験日は紫枠内を見ます。
1回目の受験として10/12(日)に地域デザインコース
2回目の受験として10/13(祝・月)に洋画コース
の試験があります。

併願時のエントリーシートについて

・併願時は、「第一志望学科・コースのエントリーシート」「第二志望以降学科・コースのエントリーシート」の合計最大2通の提出を要します。
・第一志望コースと第二志望以降のコースが同じ学科の場合は、第三志望以降で最も高い志望順位の別学科・コースのエントリーシートを必要とします。なお、志望学科・コースが同一学科内のみの場合は一通のみとなります。

組み合わせによる併願可否の例

【併願不可】

	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
×	映像学科 CG･アニメーションコース	グラフィックデザイン学科 グラフィックデザインコース				

【不可の理由】 グラフィックデザイン学科は第一志望でのみ出願可能なため。

	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
×	美術科 彫刻･キャラクター造形コース	映像学科 キャラクター･ゲームコース				

【不可の理由】 映像学科は、第一志望でのみ出願可能なため。第一志望：映像学科キャラクター・ゲームコース、第二志望：美術科彫刻・キャラクター造形コースは出願可。

	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
×	歴史遺産学科 歴史遺産コース	歴史遺産学科 文化財保存修復コース	美術科 日本画コース	美術科 グラフィックアーツコース	美術科 彫刻･キャラクター造形コース	美術科 総合美術コース

【不可の理由】 美術科を 4 コースまで選択しているため。3 コースまでなら出願可。

	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
×	企画構想学科 企画構想コース	歴史遺産学科 文化財保存修復コース	美術科 日本画コース			

【不可の理由】 3 学科跨いでの出願のため。学科は 2 学科まで出願可。

【併願可能】

	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
併願OK	企画構想学科 企画構想コース	企画構想学科 食文化デザインコース	企画構想学科 地域デザインコース			
エントリーシート	○	×	×			

●上記志望の場合の試験日

10/11(土)	10/12(日)	10/13(祝・月)
企画構想学科 企画構想コース 10/11 1日の受験で3コースの併願可	—	—

●エントリーシート

・「企画構想学科企画構想コース」1通のみ提出

併願OK	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
	映像学科 映像クリエイションコース	映像学科 CG・アニメーションコース	映像学科 キャラクター・ゲームコース	企画構想学科 地域デザインコース	企画構想学科 食文化デザインコース	企画構想学科 企画構想コース
エントリーシート	○	×	×	○	×	×

●上記志望の場合の試験日

	10/11(土)	10/12(日)	10/13(祝・月)
4〜9月生まれ	映像学科映像クリエイションコース 10/11　1日の受験で3コースの併願可	企画構想学科地域デザインコース 10/12　1日の受験で3コースの併願可	—
10〜3月生まれ	—	企画構想学科地域デザインコース 10/12　1日の受験で3コースの併願可	映像学科映像クリエイションコース 10/13　1日の受験で3コースの併願可

●エントリーシート

・「映像学科映像クリエイションコース」1通、「企画構想学科地域デザインコース」1通の合計2通を提出

併願OK	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
	美術科 洋画コース	美術科 日本画コース	美術科 総合美術コース	プロダクト デザイン学科		
エントリーシート	○	×	×	○		

●上記志望の場合の試験日

	10/11(土)	10/12(日)	10/13(祝・月)
4〜9月生まれ	美術科洋画コース 10/11 1日の受験で3コースの併願可	プロダクトデザイン学科	—
10〜3月生まれ	—	プロダクトデザイン学科	美術科洋画コース 10/13　1日の受験で3コースの併願可

●エントリーシート

・「美術科洋画コース」1通、「プロダクトデザイン学科」1通の合計2通を提出

併願OK	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望
	映像学科 CG・アニメーションコース	歴史遺産学科 歴史遺産コース	映像学科 キャラクター・ゲームコース			
エントリーシート	○	○	×			

※第三志望に映像学科があるが、第一志望で映像学科を志望しているため併願可能。

●上記志望の場合の試験日

	10/11(土)	10/12(日)	10/13(祝・月)
4〜9月生まれ	映像学科 CG・アニメーションコース 10/11 1日の受験で2コースの併願可	歴史遺産学科歴史遺産コース	—
10〜3月生まれ	—	歴史遺産学科歴史遺産コース	映像学科 CG・アニメーションコース 10/13　1日の受験で2コースの併願可

●エントリーシート

・「映像学科 CG・アニメーションコース」1通、「歴史遺産学科歴史遺産コース」1通の合計2通を提出

災害時における試験の延期等

P.79をご参照ください。なお、災害等による試験延期の振替日は以下のとおりです。
10月11日（土）の振替日：10月25日（土）
10月12日（日）の振替日：10月26日（日）
10月13日（祝・月）の振替日：10月27日（月）
※延期した場合の合格発表日や入学手続き日程等は別途通知します。

合否判定

●各学科・コース毎の評価ポイントに基づき合否判定を行います。
●他学科または他コースとの併願の際は、志望順位に応じて合否判定を行います。なお、合格圏内のうち最も志望順位の高い学科またはコース1つのみを合格とします。なお、同一学科内で複数コースを併願した場合は、同一学科内で一番志望の高いコースの受験結果を他のコースの受験結果として合否判定します。
※第二志望以降の学科またはコースで合格した場合、以降の入学試験にて総合型選抜入試［専願体験型］での第一志望の学科またはコースのみを再度受験することは可能です。ただし、以降の入学試験にて総合型選抜入試［専願体験型］での第一志望の学科またはコースに不合格の場合でも本学への入学を辞退することはできません。

合格発表

合格発表は合否結果照会でご案内します。詳しくはP.12～23 Web出願ガイドをご参照ください。なお、合格した場合は入学を辞退することはできません。

入学手続

P.21、P.81～82を参照のうえ手続きください。

入学準備プログラム

総合型選抜入学試験［専願体験型］の合格者には、大学入学までの期間を意欲的・有意義に過ごすための「入学準備プログラム」に取り組んでいただきます（受講料無料）。
このプログラムは、本学の学生として必要な教養や専門領域の知識、技術を習得するとともに、大学教員とコミュニケーションを図りながら取り組める厳選プログラムです。大学入学後の学修内容や専門知識を先取りで学ぶことができます。

その他

高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には、中止・延期となった大会や資格・検定試験等に参加できず、結果を記載できないことをもって不利益を被ることがないよう、エントリーシート、面接、調査書等をもって、学習成績だけでなく、個々の成果獲得に向けた努力のプロセスや学ぼうとする意欲を多角的・総合的に評価します。

学科・コース別　試験内容

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
歴史遺産学科 文化財保存修復コース	**①体験授業**（講義30分程度、レポート作成60分程度） 文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、レポートを提出してもらいます。 **②面接**（一人12分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具	①体験授業 1）講義の内容を理解し、それを的確にまとめることができるか 2）講義の内容に関連して、自身の知識と考えを述べることができるか ②面接 1）志望動機を具体的に述べることができるか 2）これまでの経験をもとに自身の強みを伝えることができるか 3）文化財保存修復を学ぶために自身でどのような準備をしてきたか	●知識を増やすため、文化財保存修復に関連する書籍を読み、自分なりの考えをまとめておく。 ●自身の興味のある、博物館や美術館、寺社仏閣、遺跡に足を運び、感じたこと、考えたことをまとめておく。 ●文化財保存修復に関連するニュースや記事に注目し、疑問や関心を持つ。
歴史遺産学科 歴史遺産コース	**①体験授業**（講義30分程度、レポート作成60分程度） 歴史遺産に関するミニ講義を受講した後、レポートを提出してもらいます。 **②面接**（一人12分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具	①体験授業 1）講義の内容を理解し、それを的確にまとめることができるか 2）講義の内容に関連して、自身の知識と考えを述べることができるか ②面接 1）志望動機を具体的に述べることができるか 2）これまでの経験をもとに自身の強みを伝えることができるか 3）歴史遺産（考古学・歴史学・民俗人類学・建築史学・歴史を活かしたまちづくり）を学ぶために自身でどのような準備をしてきたか	●知識を増やすため、文化遺産や考古学、歴史学、民俗人類学、無形文化財、歴史的建造物など、歴史遺産に関連する書籍を読み、自分なりの考えをまとめておく。 ●自身の興味のある、博物館や美術館、寺社仏閣、遺跡に足を運び、感じたこと、考えたことをまとめておく。 ●歴史遺産に関連するニュースや記事に注目し、疑問や関心を持つ。

学科・コース別　試験内容

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
美術科 日本画コース	**①体験授業**（日本画の写生体験）（300 分程度） 決められたエリア内（学校内）で各自、自由に対象を探して水彩にて風景画を制作します。制作の方法、対象の捉え方、道具の使い方などを身につけながら、日本画の風景画制作について学びます。画用紙（B3 サイズ）を 2 枚配布します。 **②面接**（1 グループ 20 分程度） 面接は、体験授業と並行して 1 グループ 2 ～ 3 人で行い、人物や意欲などを評価します。 **＜持参物＞** 写生用具（水彩用具、鉛筆デッサン用具）等、筆記用具、防寒具 ※画板は大学で準備します。	①体験授業 1）描画対象に向き合い、対象に迫ろうとする姿勢があるか（意欲・姿勢） 2）対象の形態、質感、色などをいかに捉えることができるか（観察力・描写力） 3）対象を独自の視点で選ぶことができるか 4）作品について自らの思いや考えを説明することができるか ②面接 1）志望動機が具体的かつ明確であるか 2）自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか 3）質問に適切に受け答えできるか	●観察をもとに写真を使わず屋内外の風景、自然物や人工物をモチーフとしてデッサンや着彩を繰り返し制作しておくこと。 ●オープンキャンパスやホームページで日本画コースの演習授業を調べ、内容をよく理解しておくこと。 ●自分の考えや好きな作家・絵画作品について、言葉で伝えられるようにしておくこと。
美術科 洋画コース	**①体験授業**（静物油彩）＊アクリル絵具の使用も可能です。（300 分程度） 油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、その後グループごとにモチーフを組み、油彩制作に入ります。 卓上に組まれた器物や野菜・果物などを油彩で描き、基礎的な物の捉え方・観察の仕方・絵具の使い方を学び身に付けます。 制作中は、教員が巡回指導を行います。 **②面接**（1 グループ 20 分程度） 1 グループ 2 ～ 3 人で行います。 **＜持参物＞** ・油彩画用具一式（アクリル絵具も可） ・F12 号キャンバス 1 枚（制作した作品を持ち帰るため） ・キャンバスクリップ ・汚れても構わない服装（ジャージ・エプロン等） ※入試用の F12 号キャンバスは大学で準備します。入試で制作した作品を持ち帰るための F12 号キャンバス・キャンバスクリップ・キャンバスバッグ等は、各自持参してください。	①体験授業（静物油彩） 1）教員のアドバイスを理解し、当日の制作に活かされているか 2）積極的な姿勢で取り組めているか 3）意欲と可能性が感じられるか ②面接 1）当日学んだことを適切に伝えることができるか 2）質問に対して適切に受け答えができるか 3）新たな自己を切り開きたいと考える熱意と意欲があるか	●観察を基本とし、自然物や大小質感の異なる器物をモチーフとして、静物油彩（アクリル絵具も可）を繰り返し制作しておくこと。 ●オープンキャンパスやホームページで洋画コースの演習授業を調べ、内容をよく理解しておくこと。 ●自分の考えや好きな作家・絵画作品について、言葉で伝えられるようにしておくこと。

学科・コース別　試験内容

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
美術科 グラフィックアーツコース	**①体験授業**（240 分程度） （当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し制作します） 【イラストレーション制作】 各自がテーマを自由（絵画的表現から絵本・漫画・アニメ表現まで、抽象具象・カラーモノクロ問わず）に設定し、イラストレーションを制作します。事前のレクチャーでは他者に伝えるイラストレーションのポイントについて学び、理解します。 ※ B3 サイズの画用紙を配布します。制作中に資料を見る事は出来ません。 【自画像デッサン制作】 鉛筆または木炭による自画像デッサンを制作します。事前レクチャーではデッサンのポイントについて学び理解します。 ※鉛筆デッサンは B3 サイズ (36.4 × 51.5cm) の画用紙と鏡、木炭デッサンは木炭紙大 (65 × 50cm) の木炭紙と鏡を配布します。 ●体験授業終了後、面接の前後の時間を利用して、今日の作品のコンセプトや制作を振り返って気付いたことや考えたことを 400 字程度のミニレポートにまとめ、提出してもらいます。レポート用紙は配布します。 **②面接**（一人 15 分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具、画板（カルトンかパネル）、汚れても構わない服装 【イラストレーション制作】 自分が表現しやすい画材（水彩絵具、アクリル絵具、ペン類、コピック、インク、色鉛筆、鉛筆など使用画材は自由ですが、油絵具やデジタル機器は不可）、必要な筆やパレットなどの描画用具 【自画像デッサン制作】 鉛筆または木炭、カッター、練りゴム、プラスチック消しゴム、ティッシュやガーゼなどのデッサン用具 ＊木炭を選択する場合、下敷き用紙は各自持参してください。	①体験授業 【イラストレーション制作】 1）教員の説明を理解し、前向きに制作に取り組めるか 2）作品において、自由な発想力や可能性があるか 3）ミニレポートで、制作を冷静に振り返り自分の言葉で書くことができるか 【自画像デッサン制作】 1）教員の説明を理解し、前向きに制作に取り組めるか 2）作品において、立体感や質感などの造形力があるか 3）ミニレポートで、制作を冷静に振り返り自分の言葉で書くことができるか ②面接 1）志望動機を明確に述べることができるか 2）自分の強みや将来の希望を自分の言葉で伝えることができるか 3）質問に適切に受け答えできるか	●【イラストレーション制作】 ・自分の描きたい世界を見つけられるよう日常的にスケッチやドローイングを行う。 ・描きたい世界を他者に伝えるつもりで描く習慣をつける。 ●【自画像デッサン】 ・自分らしいポーズを探し、クロッキーを行う。 ・観察を大切に、顔の立体感や質感の違いを描けるよう練習しておく。 ●自分の考えや感じたことを客観的に振り返り、文章にまとめる習慣を付けておく。
美術科 彫刻・ キャラクター造形コース	**①体験授業**（彫刻制作の体験）（お昼休憩を除いて 360 分程度） 粘土を使って立体作品を作ります。自然豊かな彫刻アトリエの周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由に発想して作ります。大きさや形も自由です。作ることを楽しみながら取り組んでください。最後の振り返りでは、制作物の意図や感想を発表してもらいます。 **②面接** ・個別面接（一人 12 分程度） ※受験者数が 15 名以上のときはグループ面接（1 グループ 2 ～ 4 名、20 分程度）になる場合があります。 **＜持参物＞** 筆記用具、スケッチブックもしくはノート、汚れても構わない服装（ジャージ・エプロン等）	①体験授業 作品の上手下手ではなく、以下の点を評価します。 1）作る熱意：前向きに楽しんで取り組む姿勢 2）発想力：自分なりに自然から感じて表現する姿勢 3）振り返る力：活動や制作物について他者に伝える姿勢 ②面接 志望動機や将来の目標といった基本事項の他に、本学で学ぶ姿勢や作ることへの意欲を中心に評価します。 1）志望動機が具体的かつ明確であるか 2）大学での学びの意欲があるか 3）スムーズなコミュニケーションができるか	●粘土制作に楽しみながら集中して取り組めるよう、陶芸用粘土や紙粘土など手に入りやすいもので構わないので、普段から粘土を使って手を動かしておく。 ●自分なりに自然から感じて表現する準備として、身の回りの自然（河川や公園など）で観察やスケッチをおこない、感じたことや作りたいものをメモしておく。 ●自分の考えを具体的に述べられるよう、制作物や興味のある事柄について文章にまとめる習慣をつけておく。

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
美術科 総合美術コース	**①体験授業**（アートワークショップ体験）（185 分程度） アートワークショップについて実際に体験しながら学んでいきます。 前半は、モダンテクニックなどの技法や造形素材を使ったアート技法を体験し、気づきや活動のねらいなどをまとめます。そしてそこからこの技法を活用したワークショップイベントを考えて各自ワークシートに記入します。 後半は自身が考案したイベントをわかりやすく発表してもらいます。 **②面接**（一人 12 分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具 色鉛筆やマーカーなど彩色用具（ただし、絵の具など乾燥に時間のかかるものは不可） 汚れても構わない服装	①体験授業 1）授業内容を正しく理解し、真摯に取り組むことができるか 2）創意工夫しながら授業に取り組んでいるか 3）柔軟な発想力があるか 4）自身の意見をきちんと相手に伝えることができるか 5）他者の意見を真摯に聞くことができるか ②面接 1）志望動機が具体的かつ明確であるか 2）大学での学びの意欲があるか 3）スムーズなコミュニケーションができるか	●モダンテクニックなどの技法や造形素材を使ったアート技法を実践し、その特徴や活用方法をまとめる。 ●対象や会場を想定してイベント内容を考え、絵や文章を使ってわかりやすくまとめる。 ●美術館や地域などで開催されているさまざまなアートワークショップの事例を調べる。
工芸デザイン 学科	**①体験授業**（立体制作 120 分程度、平面制作 150 分程度（発表 30 分を含む）） 工芸デザインで必要とされる立体・平面制作の基礎を学びます。 立体制作では紙造形を基本とし、課題についての考え方、作り方など工程ごとに学び、与えられた条件に沿って制作します。 また、平面制作では複数の色を使用した配色を用いたデザインを行います。配色に関する前提講義を経て、与えられた条件に沿って各自テーマを設定し、配色を表現してもらいます。デザイン完成後は一人ずつテーマと工夫した点を発表してもらいます。 **②面接**（一人12分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 汚れても構わない服装（制服でなくて結構です） スティックのり カッター はさみ 筆記用具	①体験授業 1）立体制作において、前提講義で指示された作業内容と制作方法の基礎を的確に捉え、行動することができるか 2）平面制作において、自身の考えを課題上で展開し言語化できるか。また、それに沿って美しい配色が表現できるか 3）平面制作において、共感性のあるコミュニケーションがとれるか 4）全体を通して積極的に取り組み、必要に応じて適切な質疑ができるか ②面接 1）志望動機が具体的かつ明確であるか 2）自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか 3）質問に適切に受け答えできるか	●ものづくりに対して自身の考えを持つために、世の中の美しいモノ（平面、立体、空間）について調べて分析（優れている点とその理由）しノートにまとめておくこと。 ●色相の関係と与えるイメージについて調べ、様々な美しい色合わせについて理解すること。また、自身で表現できるように練習をすること。 ●三面図について調べて、その展開図をイメージしておくこと。 ●誰とでも適切なコミュニケーションが取れるよう普段から意識して実践しておくこと。 ●大学案内やホームページ、オープンキャンパスなどを通して、工芸デザイン学科のカリキュラムをしっかりと理解しておくこと。

学科・コース別　試験内容

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
文芸学科	**①体験授業** ・受験者数が 3 人以上の場合（150 分程度） 昔話をリライト（書き換え）する体験授業を行います。はじめに、教員がデモンストレーションとしてリライトの仕方を丁寧に説明します。その後、受験生のみなさんがグループ単位でリライトに挑戦し、その内容を発表してもらいます。創作体験終了後、さきほど行ったグループワークについて 600 字程度の作文を執筆します。 ・受験者数が 2 名以下の場合（120 分程度） 昔話をリライト（書き換え）する体験授業を行います。はじめに、教員がデモンストレーションとしてリライトの仕方を丁寧に説明します。その後、受験生は個々でリライトに挑戦、その内容を発表し、教員からの質問に受け答えします。創作体験終了後、さきほど行った創作と発表について振り返る、600 字程度の作文を執筆します。 **②面接**（一人 15 分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具	①体験授業 ・受験者数が 3 人以上の場合 1）自分の考えを意見として適切に発言できるか 2）他者の意見を聞き、適切な受け答えができるか 3）グループワークに積極的な姿勢で取り組むことができるか 4）自ら体験したグループワークについて、的確に振り返りを行えているか ・受験者数が 2 名以下の場合 1）体験授業に積極的な姿勢で取り組むことができるか 2）発表時に自分の考えを他者に分かりやすく伝えられるか 3）発表後の講評時、教員からの質問に適切な受け答えができるか 4）体験授業について、的確に振り返りを行えているか ②面接 人物、個性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。また、自らの言葉で何を語るか、伝えたいことが客観的に分かるように伝えられるかを見ます。	●友人・知人以外の他者とのコミュニケーションに日ごろから取り組み、臨機応変に対応する経験をしておく。 ●高校での授業や部活動、アルバイトなどでの取り組みにて積極的に役割を見つけ、主体的に作業を行うように心がける。そのために俯瞰して物事を見る訓練をしておく。 ●論理的な文章を書けるようにしておく。
プロダクトデザイン学科	**①体験授業**（120 分程度） ・身のまわりにある文房具や生活用品などのプロダクトについて、その形状や機能を観察し、優れている点とその理由を考察したうえで、改善すべき点を見出して提案シートにまとめ、最終的にその提案を他の受験生に発表し、意見を交換しながらより良いデザインについて話し合います。 ※受験者数が 5 名以下の場合グループワークに教員が参加しての選考となります。 **②面接**（一人 15 分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具、2B 鉛筆 3 ～ 4 本	①体験授業 1）課題対象をよく観察し、形の意図や工夫されている点に気づくことができるか 2）課題対象に対して改善したい点に着目し、提案をまとめることができるか 3）2）の提案内容を他者にわかりやすく伝えることができるか 4）他者の提案に質問、コメントするなどコミュニケーションをとることができるか ②面接 1）志望動機が具体的かつ明確であるか 2）自身の適性や将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか 3）質問に適切に受け答えできるか	●文房具や生活用品など、身のまわりのプロダクトの形や機能を観察し、優れている点とその理由を考え、ノートにまとめる。 ●上記で取り上げたプロダクトに対して改善したい内容を考案し、外観図と改善ポイントを描く（絵のうまさは問いません）。 ●周囲の人に上記 2 点の内容をわかりやすく伝えてみる。意見をもらい、改善内容の質を高める。
建築・環境デザイン学科	**①体験授業**（合計 100 分程度） 建築やインテリア、街、自然や環境問題に関するミニ講義を 2 回行い、それぞれ講義の要点や自身の意見をミニレポートにまとめてもらいます。 **②面接**（一人 15 分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具	①体験授業 1）情報を聴き取り、まとめることができるか 2）知り得た情報に関して自身の意見や意志を述べることができるか ②面接 1）本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか 2）興味があること、好きで取り組んでいることを自分の言葉で魅力的に説明できるか 3）本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか 4）質問に適切に受け答えできるか	●新聞、WEB、専門雑誌、書籍などさまざまな情報に触れ、話の要点を文章にまとめる。 ●興味のある建築やインテリア、環境関連の本を読んだり、実際に場を訪れ、自身が感じたことを言語化する。 ●自分の住む地域の特徴や良いところ、課題を発見して話せるようにする。

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
グラフィックデザイン学科 ・グラフィックデザインコース ・イラストレーションコース	**①体験授業**（110 分程度） デザインに関する模擬授業を受講した後、その授業の内容について発表してもらいます。 **②面接**（一人 15 分程度） 個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具	①体験授業 1）模擬授業を受ける姿勢 2）発表の内容 3）他者の意見を真摯に聞くことができるか ②面接 1）志望動機が具体的かつ明確であるか 2）自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか 3）質問に適切な受け答えができるか	●グラフィックデザインの歴史を調べ、興味をひかれたトピック（出来事）について、その理由を自分の言葉で述べられるようにする。 ●自分らしく特徴あるエントリーシートを書くために、自分自身の魅力、興味関心や将来へのビジョンを言語化する。 ●ニュースや自分の身の回りのことから課題を見つけ、デザインで解決できるアイデアを考えて話せるようにする。
映像学科 ・キャラクター・ゲームコース ・CG・アニメーションコース ・映像クリエイションコース	**①体験授業**（合計 110 分） 身近なものを世界に情報発信するためのアイデアを考え、企画書（アイデアシート）としてまとめます。 ・グループワーク（前半 30 分） 他の受験生とテーマについて話し合い、他者の視点を参考にしながら、自身の発想を広げます。 ・個人ワーク（後半 80 分） テーマに基づき、ビジュアルと文章 [450 文字] を用いて企画書（アイデアシート）を作成します。 **②面接**（一人 10 分程度） 企画書（アイデアシート）のプレゼン・個別面接 **＜持参物＞** 筆記用具（鉛筆、シャープペン、ペン、消しゴム、定規など。必要に応じて色鉛筆、水性マーカー）	①体験授業 1）考えを表明し他者の意見を真摯に聞く力（対話力） 2）公平な意見交換の場を作り、対話を円滑に進める力（コミュニケーション力） 3）情報を整理して端的に伝える力（構成力・文章力） 4）テーマをビジュアルに繋げる力（表現力・発想力） ※ビジュアル表現の上手下手は参考としますが評価には入れません。 ②面接 1）コミュニケーション力（質問を的確に理解し、会話ができる力） 2）思いを伝える力（うまく話そうと思ったり、あらかじめ用意した内容を話すのではなく、あなたの考えや思いを自分の言葉でしっかり伝える力）	●地域や身の回りの出来事から、新しい視点や日常に潜む課題を見つけ、従来の枠にとらわれない映像表現の方法を考える。 ●他者との対話を通じて多様な視点を知り、自分ならではのアイデアを発展させ、独創的な企画へと具現化する。 ●ビジュアルと文章を組み合わせ、図解や絵を活用した明確で分かりやすい情報伝達を意識する。

学科・コース別　試験内容

学科・コース	選考方法	評価のポイント	受験までの準備
企画構想学科 ・企画構想コース ・地域デザインコース ・食文化デザインコース	**①体験授業**（130 分程度） 1）ミニ講義（20 分程度） 次の課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講します。 2）課題解決型ワークショップ（70 分程度） ＜地域の社会的課題を解決するためのアイデア会議＞ ・講義で提示された対象地域の社会課題を解決し、地域デザインに寄与する社会を実現するモノやコトを、グループで話し合います。 ・グループで発案されたアイデアを発表します。 ※受験者数が 2 名以下の場合は、グループに分かれて企画を考え発表するのではなく、教員を交えたディスカッションを行います。 3）振り返りシートの記入（40 分程度） ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入してもらいます。 **②面接**（一人 15 分程度） 個別面接。活動実績や適性などを評価します。 **＜持参物＞** 筆記用具	①体験授業 1）講義 課題解決型ワークショップの説明講義のため、評価対象ではありません。 2）課題解決型ワークショップ 以下の項目において評価を行います。 a. 主体性（リーダーシップ） ・積極的に発言を行う姿勢 ・課題の解決を試みる姿勢 b. 協働性 ・グループ内における役割を実践する能力 ・グループメンバーの意見をよく聴き、整理する能力 ・整理した意見をもとに、アイデアを生み出す能力 3）気づきのレポート ・他者と自分の意見との違いや関連性を説明する能力 ・論理的に書く能力 ・ワークショップで自分の果たした役割を客観的に評価する能力 ②面接 1）学修意欲 ・志望動機・学びたいことが具体的で明確であるか ・志望コースをよく理解しているか 2）高校時代の関心ごと・取り組んだ活動 ・高校時代にやってきたことをしっかりと話せるか ・これから取り組みたい活動をわかりやすく話すことができるか	＜企画構想コース＞ ●日々の社会の出来事に関心を持ち、テレビや新聞などで積極的に情報を収集する。 ● 10 年後の理想とする日本社会の姿を具体的にイメージし、自分なりのビジョンを持つ。 ●自分自身の強みや個性を分析し、1 分間で印象的に自己 PR ができるよう準備する。 ＜地域デザインコース＞ ●社会で起こっている地域課題に関心を持ち感じたことをまとめておく。 ●まちの中の使われなくなった建物（閉店した商店や閉校した小学校など）の再利用・活用の事例を調べておく。 ●身近にある地域活動で、住民の方がどんな役割を担っているか調べておく。 ＜食文化デザインコース＞ ●地域の食文化における現状と課題について、情報を収集しておく。 ●地域づくりにおける食文化デザインの活用事例について調べておく。 ●自分がおこなってみたい「食文化デザイン」の活動やアイデアについて話せるようにしておく。

作品持ち込み等について

試験当日にファイルや作品等を持ち込むことはできません。

試験終了時刻の目安（昨年度状況）

各学科コースの昨年度の試験終了時刻の目安は下表の通りです。試験終了時刻は志願者数によって変わりますので、あくまで参考としてください。
「面接終了後順次退出」と記載の学科コースについては、面接試験が終了した受験生より順次退出となるため、終了時刻は受験生により異なります。
帰りの交通機関の予約については18:00終了を想定して予約することをお勧めします。

学科・コース等		昨年度の試験終了予定時刻
歴史遺産学科	全コース	12:00 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
美術科	日本画	16:50 頃終了
	洋画	15:45 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
	グラフィックアーツ	14:40 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
	彫刻・キャラクター造形	16:30 頃終了
	総合美術	14:30 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
工芸デザイン学科		14:50 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
文芸学科		13:00 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
プロダクトデザイン学科		12:40 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
建築・環境デザイン学科		11:30 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
グラフィックデザイン学科	全コース	12:10 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
映像学科	全コース	12:20 ～ 面接開始、面接終了後順次退出
企画構想学科	全コース	13:00 ～ 面接開始、面接終了後順次退出